

新門司病院クロザリル委

これまでに、きちんと薬を飲んでいても幻覚などの苦しい精神症状などに悩まされている患者さんやご家族の方へ、それは治療抵抗性統合失調症かもしれません。クロザリルは治療抵抗性統合失調症の唯一の薬とされています。当院はクロザリル治療が可能な登録医療機関です。お気軽にご相談下さい。

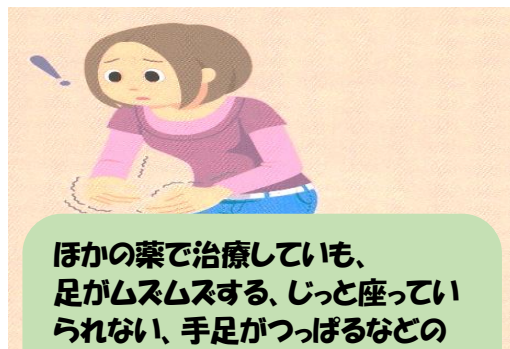
きちんと薬を飲んでいるのに
こんな症状に悩まされていませんか？



ほかの薬で治療していても、
幻覚に悩まされている。
引きこもって何もできないな
どの症状が改善しない方。



ほかの薬で治療していても、
多量の水を飲む、
自分を傷つけてしまう、暴力をふるうなどの行
動が問題となっている方。



ほかの薬で治療しても、
足がムズムズする、じっと座ってい
られない、手足がつっぱるなどの
副作用のため、必要な量の薬が服
用できない方。

このような症状は治療抵抗性統合失調症
かもしれません？主治医に相談してみて頂く
か或いは当院の連携室にご相談下さい。

新門司病院クロザリル委員

新門司病院クロザリル委員会のご紹介

私達は、当院でのクロザリル治療が適正、かつ円滑に行われることを目的に活動しています。現在、委員会は登録医4名 登録薬剤師3名 コーディネーター34名で構成され、その代表が定期的に委員会を開催しています。委員会では、まず、患者さんが本当にクロザリル治療適応患者さんであるかを多職種で検証し、その後、必要な手続きや説明、治療への同意が得られてから治療が開始されているかなどを検証しています。治療開始から、原則26週間はクリニカルパスを用いて多職種で経過観察していきます。また、入院中から外来、移行後も継続して、情報収集を行っています。こうすることで、些細な病状の変化や副作用の出現などの情報をいち早く収集することが出来ます。また、採血結果や投与量、次回の検査予定などの情報をCPMSとオンラインで連携し、異常の早期発見に努めています。

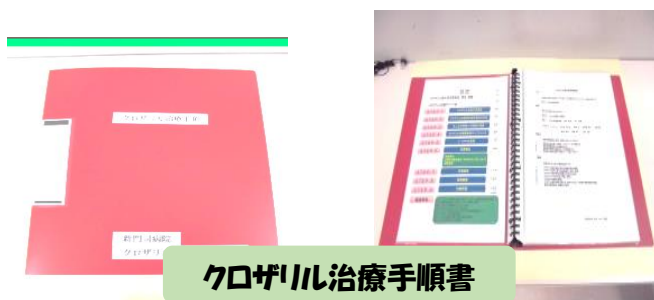
委員は、研修会の開催や症例作成などを通して日々研鑽しています。このような活動を通して、クロザリル治療が適切で円滑に行われるよう努めています。

クロザリル治療を検討されている患者さんにご家族へ

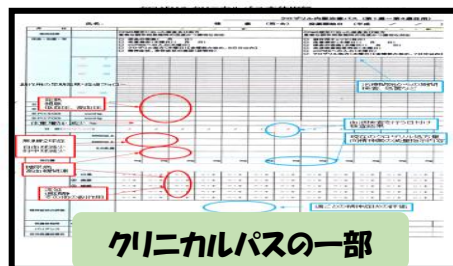
多くの薬物治療がそうであるように、クロザリルにも副作用が存在します。特に重要な副作用は白血球減少症、好中球減少症、無顆粒球症です。その他に血糖値の上昇、心臓への影響等の重篤な副作用が報告されています。そのため、治療開始に当たり、色々な約束事が有ります。

- 1、入院して治療を開始する。外来で治療を開始することはできません。
- 2、治療開始に当たり、患者さんの血液データ、年齢、性別、血液型等の情報をCPMSへ登録することが必要となります。また、定期的に採血を実施し、データをオンライン上で継続的に報告しなければなりません。
- 3、治療開始にあたっては、本人或いは代諾者の同意書への署名が必要となります。

上記以外にも守るべき事項が有りますが、その一つ一つがクロザリル治療を安全かつ効果的に実施するためのものです。委員会はこれらの項目についてサポートを行っています。



クロザリル治療手順書



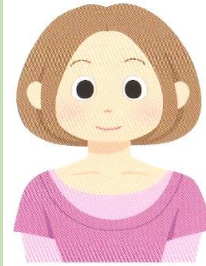
クリニカルパスの一部

内服患者さん紹介

事例1

50歳代 女性

長く幻聴や妄想に悩まされていた。周期的に病状が悪化し、周囲への攻撃性や自傷行為などで閉鎖病棟で個室を使用することを繰り返していた。クロザリル治療で症状が安定、開放病棟へ転棟して療養できるようになった。



事例2

50歳代 男性

若い頃より被害的考えに囚われ、不眠やイライラから周囲に粗暴行為があり、何度も入退院を繰り返していた。クロザリル治療を開始すると顕著な症状の改善がみられ外来治療へと移行した。現在も長く、安定した生活が送れている。



事例3

40歳代 女性

様々な薬物治療を受けたが、興奮や他者への迷惑行為などにより、頻繁に隔離室を使用していた。クロザリル治療を開始したところ、精神症状は改善したが、白血球数の減少が見られたため、規定により投薬を中止した。その



あなたらしい生活を
とimotoすために、私達はクロザリル治療とい
う選択肢を提案します！

治療へのご相談は当院、連携室
或いは新門司病院クロザリル委員会へ